

浪江のさくら'25.2月



* 権現堂～リバーラインメインストリートの剪定：次季フェーズにむけた冬季強剪定
冬型で晴れる、晴天の条件下での作業 2025. 2. 15



剪定枝を配布用に選別・整枝



囲いのよりふっくらした冬芽が「花芽」尖って細身の冬芽が「葉芽」
この短枝には「花芽」が3つついています



囲いのよりふっくらした冬芽が「花芽」尖って細身の冬芽が「葉芽」

この枝には「花芽」が「1つ」しかついていないことになります。徒長枝やてんぐ巣病にかかった枝あるいは状態の悪い枝では「花芽」のつきが悪くなります



葉芽

囲いのよりふっくらした冬芽が「花芽」尖って細身の冬芽が「葉芽」

樹の最上部から得られたこの枝には「花芽」が「5つ」持っていることとなります。
樹の最上部に枝があったことで、日当たりが良く、条件が好適であったためと考えられます

* 請戸川沿い(リバーライン) サクラ剪定枝サンプリング～切枝実験へ：2025. 2. 15



ペットボトルを切り合わせたオリジナルサンプル容器で、切り口をペーパーウェスに水を含ませることにより保湿し移動します



翌々日(2/17)
無事実験室に到着
(弘前大・農生)



* 剪定により切り落とされた枝

囲の枝は細くひょろっひょろしており＝状態が悪い 日当たりや 栄養（肥料）などの要因が考えられる

中央部はサクラてんぐ巣罹病の枝

罹病すると、葉芽のみがまばらに枝につき、「花」が咲かず、花が咲くサクラ開花の頃、「葉」



間に植栽されていた「吉野桜」 夏、上層に葉が茂る頃には日陰になってしまっているのでしょうか？

あまり状態が良くないように見受けられました



良い状態で、切り口の
カルス化が起こっていますね

加えてその形が「ハート」で、この樹の目印・・・何かネーミングして個体識別？愛着もって？かわいがっては？

何か広報 情宣 PRに



多くの切り口で、周縁部に水分を含んでいる様子が確認されることから、もう水分をあげている
＝（休眠覚醒）＝生きていることの「証し」ともいえます。

右下部の、きのこ類が生えた「枯れ枝」では、切り口に水分の気配、認められません、よね。



2025/02/15 16:12



「殿様桜」(標記正式には?)

樹の全容が明らかに、これからが楽しみです。

まだまだ管理はこれからかと思えます。

切り口の状態 あまり良くないよう・・・少し気にかかります

こぶ・・・困い部分、病気かもしれません



2025/02/15



2025



「殿様桜」(周辺箇所に12月の打合せの際に「全部で5本ある」と聞いた記憶があり、これらがその5本の一部(3本)でしょうか?)

枝振りが立派で、かなりの高木。昨年11月 小林さんの見立てでは「エドヒガン」では?

冬芽(葉芽・花芽)の印象はソメイヨシノとは異なる感

「エドヒガン」であるとすれば、他のサクラ=ソメイヨシノよりも早く開花するはずです。

3月末の調査で、確認出来たら・・・

* 花を観れば「エドヒガン」であれば同定出来るかと



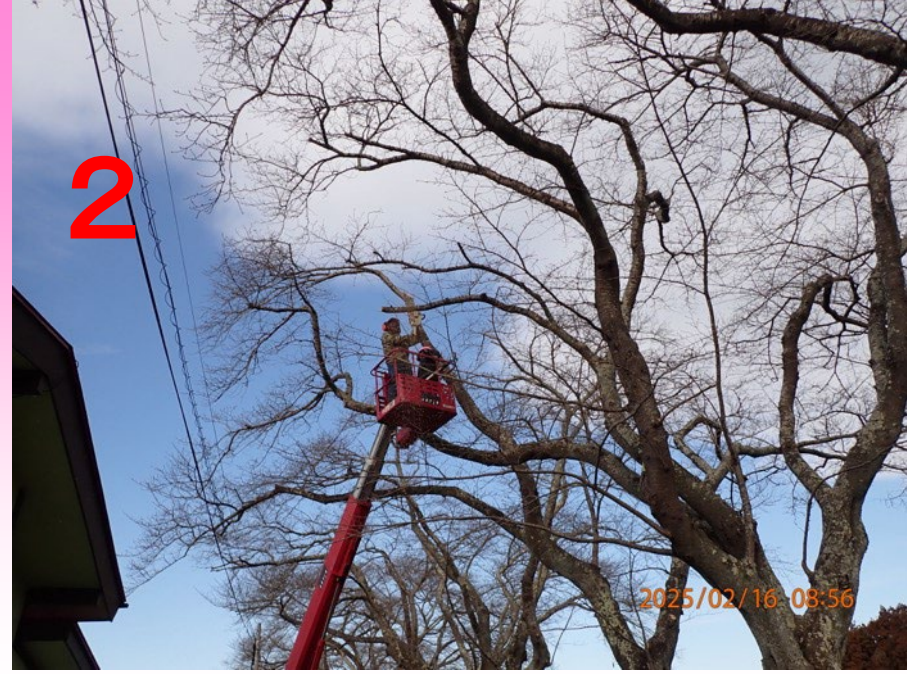
この日も晴天の条件下での作業
2024. 2. 16

* 上方に高く伸びている枝を強剪定し、
樹高を低くしてゆく、またそれによ
って拡がりをもつ下枝に光をあて、
状態を良くしてゆく＝枝の状態を良
くし花芽を多くつけることが出来る
ように

2025/02/16 08:25



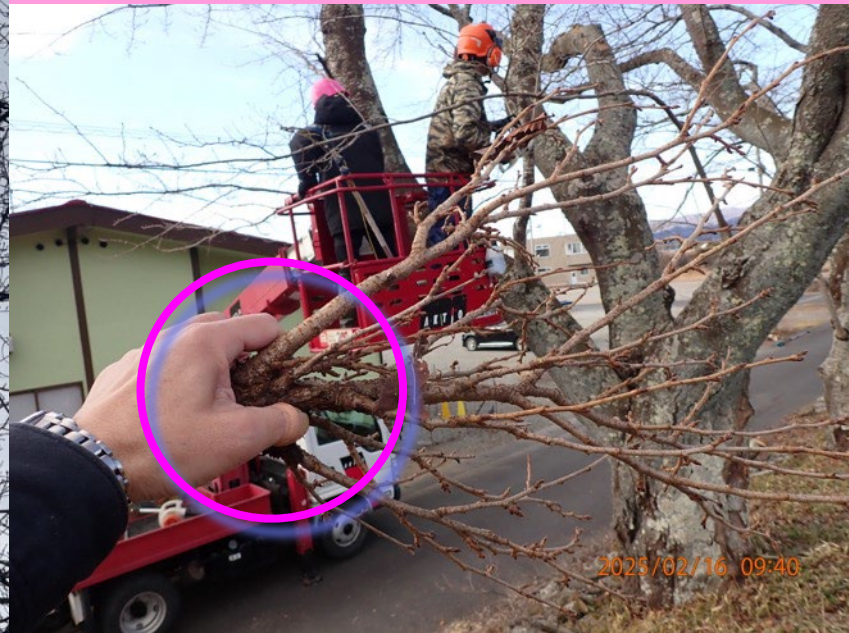
*併せて
枯れ気味の枝も 落としてゆく







*併せて
「てんぐす」の枝も 落としてゆく



「てんぐす」の枝、やはり冬芽のつきが悪く、

一方で、元の方には「こぶ苗」と思われる徴候も



かなりの強剪定ではあったが、行うとすればこの機会（季節）にと

かなり低く出来た印象で、上部の枝がなくなったことで、これまで下になっていた枝が光を受け、今後良い状態へと移行することに期待

2025/02/16 10:00

配布された剪定枝の様子：さっそく「セブン」で



弘前大学・本多実験室へ移動した剪定枝の様子：
3/3 (ひな祭りの日)に開花しました！



私、本多の見立てでは、10日～2週間で開花と、、、
実際には、「16日」かかって開花となりました。

* より長い切枝をお持ちになった方は、条件が良ければもう開花を観られているかもしれませんね

今回、2月の剪定作業および3/3までの画像を共有クラウドにアップロードしています

お手すきの際に、是非ご覧下さい

<https://cloud.hirosaki-u.ac.jp/index.php/s/359mABt3rQCTsVi>